社会	社会福祉士登録番号				
氏	名				

■記入上の注意

- (1)スーパービジョンは、社会福祉士(ソーシャルワーカーを含む。)の個人スーパービジョンとグルー プスーパービジョンに限ります。なお、更新スーパービジョン(集合研修方式)は除きます。
- (2)スーパーバイザーとしての実績は社会福祉士(ソーシャルワーカーを含む。) に対して3件以上ある ことが必要です。なお、実習生(学生等)へのスーパービジョンは対象となりません。
- (3)記載欄が狭い場合は適宜拡げてください。

1. 社会福祉士(ソーシャルワーカーを含む。)としてのスーパーバイジー経験

(1) スーパービジョンを受けた時期、その時の①あなたのスーパーバイジーとしての立場(職位・職種

など)とその時のスーパーバイザーの立場(職位・職種など)と②あなたとスーパーバイザーの関係 性の概要を、一つ以上、お書きください。	
スーパービジョンを受けた時期: 西暦 年 月~ 年 月 □認定社会福祉士制度のスーパービジョン □認定社会福祉士制度以外のスーパービジョン ①スーパーバイジー: ②スーパーバイザー: ③関係性の概要:	確になるように
(2) あなた自身がスーパーバイジーとしてスーパービジョンを受けたことによって、学んだ事柄や実践 ヘフィードバックできたことをお書きください。	確になるように記述してください。複数の経験を書く場合は、各経験が明
2. 社会福祉士 (ソーシャルワーカーを含む。) へのスーパーバイザー経験(1) スーパービジョンを実施するうえで重要視していることを次の観点からお書きください。① スーパービジョンの際にスーパーバイジーの成長を促す観点から重要視していること	
② スーパービジョンの際にスーパーバイジーの成長を促すためにスーパーバイザーに求められること	記述してください。
	記述してください。 そのように考える理由も含めできるだけ
③ スーパーバイジーの成長を促すためにスーパービジョンの運用で気をつけていること	さるだけ

スーパービジョン研修の講師は、実績の対象にはなりません。

(2) スーパーバイザーとしての実績を 3 件、書いてください。なお、各実績の内容は、1 実績につき $1000\sim1200$ 字程度で記述してください。

項目	記入欄
認定制度との関係	□認定制度のスーパービジョン □認定制度以外のスーパービジョン
実施期間/実施回数	西暦 年 月~ 年 月(か月間)/ 回
スーパーバイジーとの関係	同一者又は同一グループへの1契約期間・複数回のスーパービジョンを 実績の対象とします。
スーパーバイザーとしての指導経験**	スーパーバイザーであるあなたとの関係をわかりやすく記入してくださ い。氏名や個人が特定できる名称は記入しないでください。
スーパービジョンで ①取り上げた主要な領域、②課題・テーマ、③ 目的・ねらい、④問題、 ⑤過程(方法と流れ)、 ⑥効果(何がどうなったのか、変容)、⑦結果 (スーパーバイジーからの評価)、⑧スーパー バイザー自身の自己評	・実施してのスーパーバイジー側からの評価、自己評価の善し悪しは、登録審
価	文字数を記入してください。
※ 実施した内容が、後掲	

※ 実施した内容が、後掲の「スーパーバイザーとしての指導経験」の項目・指導内容のどれに該当する か、指導内容の番号を記載してください。

			記入欄			
□認定制度の次	スーパー	ービジョン	□認定	制度以外	のスーパービジ	ション
西暦	年	月~	年	月(か月間) /	П
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧						1
					()字
	西暦 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	西暦 年 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	□認定制度のスーパービジョン □認定 西暦 年 月~ 年 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	□認定制度のスーパービジョン □認定制度以外 西暦 年 月~ 年 月(① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	 □認定制度のスーパービジョン □認定制度以外のスーパービジ

[※] 実施した内容が、後掲の「スーパーバイザーとしての指導経験」の項目・指導内容のどれに該当する か、指導内容の番号を記載してください。

項目			記入欄		
認定制度との関係	□認定制度のス・	ーパービジョン	□認定制度以外	のスーパービジョン	
実施期間/実施回数	西暦	年 月~	年 月(か月間) /	口
スーパーバイジーとの関係					
スーパーバイザーとし ての指導経験**					
スーパービジョンで ①取り上げた主要な領域、②課題・テーマ、③ 目的・ねらい、④問題、 ⑤効果(方法と流れ)、 ⑥効果(何がどうなったのか、変容)、⑦結果 (スーパーバイジーからの評価)、⑧スーパー バイザー自身の自己評価	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧			() 5	子

※ 実施した内容が、後掲の「スーパーバイザーとしての指導経験」の項目・指導内容のどれに該当するか、指導内容の番号を記載してください。

○スーパーバイザーとしての指導経験

石口 工		1 / このでが旧寺(性)が
項目		指導内容
個別	1-1	相談援助の開始に係わる業務
	1-2	理論・モデルに基づくアセスメント
	1-3	アセスメントに基づく目標設定と計画立案
レベ	1-4	サービス調整会議・ケースカンファレンス等による検討及び調整並びにコーディネーション
ル	1-5	計画に基づく介入の実施とモニタリング
	1-6	相談援助の終結に係わる業務
	2-1	組織の立ち上げや事業の開始あるいは継続に関わる業務
組	2-2	理論・モデルに基づく組織のアセスメント
織レ	2-3	アセスメントに基づく目標設定と取り組みの企画(計画)
べ	2-4	組織内外での会議の企画・運営、職員間及び関係部署や関係機関との合意形成及び連携
ル	2-5	計画に基づく取り組みの実施とモニタリング
	2-6	取り組みの終了に関わる業務
	3-1	地域福祉活動・事業の開始に関わる業務
地域レベ	3-2	理論・モデル注1に基づく地域のアセスメント
	3-3	アセスメントに基づく目標の設定と地域福祉活動・事業の計画立案
	3-4	策定会議、連絡協議会、懇話会等による検討及び調整並びにコーディネーション
ル	3-5	計画に基づく地域福祉活動・事業の実施とモニタリング
	3-6	地域福祉活動・事業の終結に関わる業務